

がん専門病院における電子トレーシングレポート導入が病薬連携業務および情報共有に及ぼす影響の検討

1. 研究の対象

2025 年 4 月～6 月、および 2025 年 9 月～11 月までの間に国立がん研究センター東病院（以下、当院）を受診し、院外処方せんに基づき保険薬局で処方薬を受け取った方のうち、当院に TR が提出された 18 歳以上の方

2. 研究目的・方法

近年、がん薬物療法の外来化が進み、病院と地域薬局の連携の重要性が高まっています。地域薬局から医療機関への情報共有手段としてトレーシングレポート（TR）が活用されていますが、従来の FAX を用いた紙運用では、転記作業による業務負担や入力ミス、FAX 誤送信などの課題がありました。当院では、電子トレーシングレポートシステム「AAdeReport」を導入しており、業務効率化や安全性向上が期待されています。しかし、電子 TR 導入による実際の効果については十分に検証されていません。そこで本研究では、電子 TR 導入前後における TR 件数や内容、院内対応の変化を診療録から後ろ向きに調査するとともに、地域薬局薬剤師および当院薬剤師を対象としたアンケート調査を実施し、電子 TR 導入による業務効率や情報共有への影響を評価します。対象となるのは、2025 年 4 月～6 月、および 2025 年 9 月～11 月に当院を受診し、当院へ TR が提出された 18 歳以上の患者さんです。研究期間は研究許可日～2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる情報の種類

【診療録調査】

・治療開始時の年齢（生年月日）、性別、がん種、治療内容、TR の内容分類、薬局薬剤師から医師への提案内容・病院側の対応、TR 提出件数及び提出内容、TR を契機とした介入内容及びその結果等

4. 情報の授受

他機関への情報の提供は行いません。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院	薬剤部	古岡	桃果（研究責任者）
国立がん研究センター東病院	薬剤部	川澄	賢司
国立がん研究センター東病院	薬剤部	石井	千博
国立がん研究センター東病院	薬剤部	魚住	真哉
国立がん研究センター東病院	薬剤部	御厨	弘華

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

（研究責任者）

国立がん研究センター東病院薬剤部 古岡 桃果

〒277-8577 柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111

FAX：04-7135-5452